

議会だより

あっさぶ

平成26年12月

No.81

題字は、鶺鴒保育所 らいおん組の佐藤穂乃香さんです。
さとうほのか



鶺鴒中学校1年生 さつまいもの収穫に挑戦



STOP!! ジャガイモシストセンチュウ

～日本一のブランド「あっさぶメーカーイン」を守ろう!～



館小学校・総合体育館等排水設備水洗化工事費など

6709万8千円を補正

第3回定例会が9月3日招集され、補正予算等26件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ6709万8千円を追加し、総額39億4261万6千円となりました。

追加補正された主なものは次のとおりです。

●道道乙部厚沢部線支障木等撤去工事費
(554万1千円)

●社会保障・税番号制度システム構築委託料(地方税務システム分)
(248万4千円)

●地域子ども・子育て支援システム導入業務委託料

(421万2千円)

●鷲西3号線排水路改修工事費
(2400万円)

●町道維持補修作業委託料
(200万円)

●館小学校排水設備水洗化工事費
(647万7千円)

●総合体育館等排水設備水洗化工事費
(559万6千円)

質疑応答 (要旨のみ)

問 「がんばる地域交付金」について

答 昨年度の「地域の元氣臨時交付金」とほぼ同じ内容の交付金です。館小学校と総合体育館のトイレ水洗化工事に充てられます。

問 「いきいきふるさと推進事業助成金」について

答 宝くじの収益金を活用した北海道市町村振興協会からの助成金で、三大学との交流事業、日本ハム球団応援事業、婚活事業に活用します。(各事業100万円)

問 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種委託料について

答 高齢者の場合、肺炎による死亡率が大変高く、今年の10月1日から、このワクチンが定期予防接種B類に指定されることになりました。そのため該当者が無料で接種できるように予算化し、委託するものです。(65歳以上、5年に1度の接種)

問 地域発見フェアの内容は

答 新幹線開業を見据え、東京ドームで11月12日、13日に

各会計補正予算額一覧表

会計名	区分	補正額	補正後の額
一般会計		6709万8千円	39億4261万6千円
国民健康保険事業特別会計		189万円	6億7065万9千円
後期高齢者医療特別会計		54万6千円	6819万3千円
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	263万2千円	6億4810万5千円
簡易水道事業特別会計		60万5千円	1億3152万2千円

国保会計

国保電算システム改修委託料189万円を追加し、総額

答 設計を3月までに発注し、国の補助金が採択されしだい27年度に建設の見込みです。

問 公営住宅緑町B団地建設の今後の予定は

開催されるフェアで、各地の物産展示・販売を行います。当町からも出品し、販売や地域紹介、販路拡大を狙います。

後期高齢者医療会計

6億7065万9千円となりました。

後期高齢者医療システム改修委託料54万6千円を追加し、総額6819万3千円となりました。

介護保険会計

保険事業勘定は263万2千円を追加し、総額6億4810万5千円となりました。

補正内容は介護保険システム改修委託料等です。

簡易水道会計

簡易水道修繕料等60万5千円を追加し、総額1億3152万2千円となりました。

条例

子ども・子育て支援法に基づき、所要の基準を定めるため、次の3条例を制定。

●特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関

規約

する基準を定める条例の制定

●家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

●放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

●北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

人事

●任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について、木村秀喜さん（富里）を選任することに同意しました。

●任期満了に伴う教育委員会委員の任命について、尾山君兆さん（新町）を任命することに同意しました。

議員派遣

●札幌厚沢部会総会
目的 意見交換、交流
場所 札幌市

報告

期日 10月25～26日
派遣議員 中山俊勝 高田一弥 松村松雄

●平成25年度健全化判断比率の報告

●平成25年度公営企業会計に係る資金不足比率の報告

臨時会

10月31日

第4回臨時会が10月31日招集され、補正予算等2件を審議し、原案どおり可決されました。

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ2449万3千円を追加し、総額39億6710万9千円となりました。

追加補正された主なものは次のとおりです。

質疑応答（要旨のみ）

●館地区憩いの家蓄熱槽保温断熱工事費（397万5千円）

●林業専用道新設工事費（352万7千円）

●公営住宅緑町B団地実施設計委託料（477万9千円）

●総合グラウンドフェンス改修工事費（1054万1千円）

問 館地区憩いの家チップボイラーの改修について

答 今回の工事により当面は大規模な改修はないと予想されますが、管理を専門業者に委託し、今後は万全な点検をしながら管理していきます。

問 鳥獣被害対策実施隊員日額報酬及び熊等駆除捕獲報酬の増額理由について

答 例年と比べ、熊の出没や目撃情報が多く、そのため捕獲頭数、出動回数が増えたことによる補正です。

承認

●町有地の処分についての専決処分の承認

**人口減少時代を迎えて行政サービスの在り方、
当町の将来展望について**

山崎 孝 議員

重要 自然増対策と社会増対策が

洪田 町長



山崎議員

～聞いてみたい、こんなこと～

問 5月の日本創生会議の試算によると、2040年までに全国で896自治体が消滅、道内147市町村で20代、30代の女性が半減、当町の人口は2412人になるという厳しい数値が示された。人口減少により行政対応の変化も想定されるが、将来展望と今後の行政サービスについて、またこの試算についてどう受けとめているか伺います。

答 人口減少問題は、全国ほとんどの市町村の喫緊の課題です。地域の生き残りをかけて、それぞれの自治体間でサービス競争が繰り広げられている現状であり、ハード面、ソフト面全てにわたり地道な努力が必要とされています。昨今、都市部の若者の31・6%、20代では38・7%が田舎への定住を希望しているというデータがあり、田園

回帰の志向が増えていると言われています。この潮流を人口拡大に結びつけられるよう、当町基幹産業の農業を雇用の受け皿にすることは極めて有望であると考えています。

現在当町では、地域おこし協力隊の数名が、農業経営を希望し活動しています。行政としてもこれらの方々が定住できるような仕組みづくりと担い手の育成・確保をさらに図って参ります。

人口流入対策として公営住宅の建設、認定こども園や総合的な給食センターの整備も進め、雇用創出による社会増対策、結婚・出産を後押しする自然増対策を総合的かつ積極的に検討し、進めていくことにより、推計を上回るまちづくりにつなげていきたいと考えています。

行政サービスについては、現在、子育て支援、老人福祉、産業振興面で積極的に対応しているのが、将来的に公益性を欠くものが出れば見直しをし、過疎対策として成果の期待できるものは拡充をしていくつもりです。試算の数字については、これらの対策や構造改革の中で大きく動くもの

であるので、心配しておりません。

再 質 問

問 人口減少と教育環境の変化についてどう考えるか。

答 教育長・副町長

少子化に伴いハード面の集

中が必要となり、学校再編は喫緊の課題となります。また、認定こども園の建設等も含め十分に検討し、乳幼児から小中学生全てに対し地域がしっかりと支え、総合的な教育力を発揮していくことが、転入者も安心でき、人口減少に歯止めをかけていく一つの方策と考えます。

質 問 1

地域おこし協力隊について

中山俊勝 議員

制度資金を活用しながら支援

洪田 町長



中山議員

答 ①農業や福祉の担い手として募集したので、できれば定住していただきたい。

問 ①予定期間を終了した隊員への対応は。

②協力隊員新聞を月刊で配布し、町内行事への参加や、自発的な地域交流会、フェイスブックなどでPRしています。

③今後の協力隊員の採用をどのように考えるのか。

③地方創成に向け、来年度国からの予算が増えることから、現在よりも増員していきたい。

住民の安心生活確保対策は

佐々木 宏 議員

質 問 1

町民と行政が一体となり、被害を最小限にとどめる

渋 田 町 長



佐々木議員

問

- ①局地的豪雨など異常気象への対応は。
- ②当町の土砂災害危険箇所の地区毎の数は。
- ③ハザードマップ（危険予測地図）において津波対策は。
- ④住民の安全確保に向けた避難勧告基準は。
- ⑤住民への防災意識の啓発が必要であると考えるが。

答

- ①常に緊張感をもって冷静な判断と素早い行動ができるよう備えてまいります。
- ②下地区20か所、鶴地区1か所、館地区が5か所です。
- ③当町は海に面しておらず、策定していませんが、一部地



平成25年 8月18日 大雨災害時

- 域が海岸に近いこともあり、近隣町と連携協力しながら対応していきます。
- ④道が示した基準に沿って早々に作成していきたいと思っています。
- ⑤当町は渡島・檜山管内で唯一自主防災組織がありませんが、町内会連絡協議会で体制を整えて頂くようお願いしています。

介護保険について

加藤古志男 議員

質 問 1

地域の実情に応じた介護保険制度の地域支援事業への移行

渋 田 町 長



加藤議員

問

- ①制度の見直しにより、住む地域によってサービスに格差がでるのでは。
- ②費用を削減するための民間企業等によるサービス提供は可能か。
- ③専門的なサービスを受けるための要件、サービス内容は。
- ④特別養護老人ホームへの入所は、来年4月以降要介護3以上に限られます。町内の人で入所している介護度別の人数は。
- ⑤例外的に要介護1、2の方も事情により入所を認めるとしているが、入所要件は。

答

- ①各自自治体で住民サービスは変わりますが、当町では現在

- 行っているサービスを低下させることなく進めていきます。
- ②現在サービスを提供している民間企業と引き続き委託契約を行いたい。また、居宅での介護については、ボランティアの活用など、人材確保、発掘を進めていきたい。
- ③身体介護や機能訓練が必要な方で、本人や家族の希望に沿うようなサービス内容をケアマネジャーが作成し、町が決定します。
- ④要介護1 5名、要介護2 14名、要介護3 11名、要介護4 24名、要介護5 17名となっています。
- ⑤特例的に認められる入所要件は、知的障がい、精神障がい等で安定した生活が困難、家族等の虐待で安全性が確保できない、認知症高齢者で常時の介護が必要などの場合で、町から施設へ証明書を発行します。

質問 2 臨時福祉給付金について

問①申請期間は。

- ②給付対象者数は。
- ③今までの給付申請者数は。
- ④給付申請にあたり、対象者に配慮している点は。

できるだけ多くの
人に給付

- 答①7月1日から9月30日までの3か月です。
- ②臨時福祉給付金は約1200人、子育て世帯臨時特例給付金は400人ほど対象としています。
- ③臨時福祉給付金が250件の申請で406人、子育て世帯臨時特例給付金は226件で377人です。
- ④広報や各戸配布でお知らせのほかに子育て世帯臨時特例給付金は児童手当受給者に申請書を送付、また提出時に住民税が非課税の方には臨時福祉給付金の対象になることを説明して申請書を渡しています。さらに町内の介護サービス事業者などへも通知して利用者への声かけを実施してもらい、できるだけ多くの方に給付するよう配慮しています。

平成25年度

各会計決算を認定

平成25年度各会計の決算認定は、9月4日、5

1596万円です。

日に審査特別委員会に付託し審議され、いずれも認定可決されました。

委員会での主な質疑を要約してお知らせします。

一般会計

問 国営相和地区農地開発事業費負担金滞納者への対応は

答 現在もそれぞれの案件に対して最善の策で対応しており、債権を放棄する考えはありません。

問 介護付有料老人ホーム「ゆいまゝる」の入居者数及び町内からの入居者数について。

答 現在入居者20名で、町内からの入居は9名です。待機者は6名で全員町外の方です。

問 敬老福祉年金受給者数について

答 受給者798名、支給額

問 鳥獣被害対策実施隊員日額報酬、熊等駆除捕獲報償費の内容及び今後の駆除対策について

答 1日の基本報酬は5000円、半日2500円です。捕獲による報償金額は、熊100kg未満で25000円、100kg以上が30000円、鹿は1頭10000円です。今後はスノーモービル等を貸出し、冬期間の捕獲体制を強化、また報償費の増額等については各町の動向を踏まえて検討していきます。

問 道の駅「あつさぶ」リニューアル工事後の実績は

答 前年対比で入館者数は3705人増で、売上金額も804万円ほど増えています。

問 レクの森を活用した体験的野外活動について

答 毎年各学校から依頼を受け、コーディネーターによる見本林を活用した授業を実施しています。

問 館城跡公園管理の今後について

答 現在、保存整備検討委員会を立ち上げ、今後の城跡をどのように整備していくのかについて基本計画を練っているところです。

問 生活排水処理施設整備事業における設置戸数及び今後のニーズについて

答 今年度までの補助事業として合併浄化槽298基を設置しており、来年度からまた5か年計画を立てて進めていきたいと考えています。

簡易水道会計

問 水道使用量における江差地区分について

答 水道料金は170万9160円、使用量は9873立米で、割合は2.6%です。

平成25年度 厚沢部町各会計決算

区分		歳入(収入)	歳出(支出)	差引残額
会計名				
一般会計		59億6910万5388円	58億2955万2850円	1億3955万2538円
国民健康保険事業特別会計		6億6278万1255円	6億4752万342円	1526万913円
後期高齢者医療特別会計		5835万4046円	5818万8140円	16万5906円
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	5億6351万9479円	5億5857万8808円	494万671円
	介護サービス事業勘定	185万908円	185万908円	0円
簡易水道事業特別会計		8774万7582円	8551万748円	223万6834円
農業集落排水事業特別会計		1億1753万7580円	1億1702万4228円	51万3352円
国民健康保険病院事業特別会計	収益的収入及び支出	4億4346万6536円	4億4326万1259円	20万5277円
	資本的収入及び支出	2753万6222円	2753万6222円	0円

意見書を提出しました

第3回定例会で意見書4件を原案どおり可決し、関係省庁に提出しました。

(内容省略)

●2015年度(介護・子ども)の充実・強化を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣

●「手話言語法(仮称)」の制定を求める意見書

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

●集団的自衛権に関する憲法解釈の変更に反対する意見書

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、防衛大臣

国民健康保険病院事業特別会計 決算審査意見書（抜粋）

公的医療機関の果たすべき大きな役割は、地域において提供されることが必要な医療のうち、採算性等の面から民間医療機関による提供が困難な医療を提供することにある。

平成25年度決算は、医師を3名体制としたことで、入院患者数が増加し病院の経営状況が回復傾向に転じ、医療損失は昨年度と比較して減少している。

経営効率化のため、医療事務専門会社への一部業務委託、看護師の確保などに順次取り組んでいるが、病床数の見直しとそれに伴う病床利用率の改善などは未着手であり、今後の患者数の推移や不採算の公立病院に対する交付税算定の基準等を踏まえ、今後さらなる経営改革が必要となる。

今後、厚沢部町国民健康保険病院が公立病院として果たす役割として、民間による医療提供が困難な山間へき地・過疎地等における一般医療、救急などの不採算部門に関わる医療の提供を継続することは必要不可欠である。

平成26年度は、常勤医が1人減少し、医師2人での診療体制がスタートしたことが、経営状況にどの程度影響するか懸念されるが、総合診療の実施で一次医療としての役割を十分に発揮されることを期待する。

今後とも地域に密着した医療機関として町民の健康を守り、保健・医療・福祉の関係機関との連携を更に密にするとともに、職員が一丸となり充実した地域の医療機関として住民のニーズに応じた医療サービスの提供を継続することを望み審査意見とする。

厚沢部町代表監査委員 進 藤 貞 夫
厚沢部町監査委員 山 崎 孝

各会計決算審査意見書（抜粋）

町税、国保税、介護保険料は依然として未納が発生している状況であるが、町税及び国保税については、従来からの滞納整理機構への引継ぎ等に加え、必要に応じ町職員で資産調査や差押えを実施した結果、徴収率は町税が同率、国保税はわずかながら向上したものの介護保険料は落ち込んでいる。

各種負担金等の収納状況は、奨学資金貸付金償還金、公営住宅使用料、上下水道使用料等の未納も発生しており、長期化しているものもあり、早急に対策を講じるべきである。特に、国営相和地区農地開発事業負担金は平成25年度末の未納額が、271,324,081円となっており、差押え等で7,030,126円の収入実績があったものの、個人で多額の未納額を抱えているケースが見られる。未納が解消されない場合、将来的には債権放棄せざるを得ない懸念もあるが、町の今後の対応としては、差押え等の強制的な徴収や不動産物件の競売も視野に対策を講じるとのことである。なお、保育料及び住宅使用料については継続した未納解消への取組の結果、収入未済額は減少している。

平成25年度決算状況においては、決算額は種子馬鈴薯選別施設事業等の実施により前年度決算額を上回っているが、積立金現在高は約40億円台を維持し、北海道市町村備荒資金組合の現在高は約1,206,618千円と健全財政の維持が図られている。また、予算規模のみならずその実施内容について着目すると、補助金等を活用し町財政の負担を最小限に抑えた中でインフラ整備を行うとともに、経済活動の活性化に資する事業が選択されている。

産業・福祉・教育など広く住民生活に密着するサービスの水準を維持・継続し、さらに行政サービスを向上させるため、より一層、経済性・効率性・効果性を高めた自治体経営を行い、さらには町内の経済活動の活性化に資するとともに、健全な財政運営を堅持することを望み審査意見とする。

委員会活動

総務文教・産業厚生各常任委員会で行った第1回所管事務調査の内容をお知らせします。

○総務文教常任委員会

第1回調査日 8月11日

1. オートキャンプ場の環境整備について（現地調査）

オートキャンプ場の利用状況等について資料説明を受け、施設や設備の整備状況について現地確認を行った。

施設や設備の環境は良好であるが、利用客の増加に向けては集客対策への工夫が必要で、年間を通じて一定数の集客が見込まれる「道の駅あつさぶ」や「うずら温泉」を活用してPRに取組む等、再度、重点的なPR活動を行う必要がある。

また、利用客に対するアンケートを実施し、利用者ニーズを把握した上で対応を検討するなど、利用する側の意向を的確に把握するための取組みも必要と思われる。

利用客の主となるファミリー層の獲得に向けて、「子

ども達が遊べる・子ども達が魅力に感じる」ことに着眼した環境を整備することにより、キャンプ場に新たな魅力を加えることも利用促進方策の一つと考える。

2. 太鼓山公園及び太鼓山スキー場の整備状況と学校におけるスキー指導の実態について（現地調査を含む）

太鼓山公園内の状況について、現地確認を行った。公園内の桜樹木については老木が目立ち、早急に間引きが必要な状況と判断された。

太鼓山スキー場は、近年の気象条件による雪不足や風による着雪不足のため未開設の年もあり、開設した年でも過去12年間の開設日数は平均25日間と1か月に満たない状況にある。現在利用しているゲレンデの左側斜面は、雪が着きやすい環境にあることから整地してゲレンデとして利用し、ロープトウは中央に移設するなどの根本的な環境整備の検討も必要と考える。

併せて、各小・中学校におけるスキー学習及びスキー団

体の活動実態について資料による説明を受けた。富里スキー場のロープトウ老朽化が進んでおり、近い将来は更新が必要となることも予想されることから、太鼓山スキー場を町内全地区のスキー愛好者が利用することも想定し、着雪しやすい環境を整備する重要性は高いと思われた。

3. 旧滝野小学校の利用実態について（現地調査）

旧滝野小学校の利用実態について現地確認を行った。

現状はイベント用具や農具等の保管場所として利用されているが、建物の構造もしつかりしており、今後、利用希望者に貸付けするなどの活用対策も可能と考える。また、保管されている物品の中には、今後の活用が難しい物も見受けられたことから、保管物品の整理が必要と思われる。

今後の活用に向けて、グラウンドも含めた校舎周辺を良好な環境として維持するため、定期的な草刈りを行うなどの管理も必要である。

○産業厚生常任委員会

第1回調査日 7月10日



町内3保育所を現地調査

1. 保育所の管理運営及び施設の現状について（厚沢部・館・鶴保育所現地調査）

町内3保育所の管理運営について資料説明を受け、施設の現状について現地確認を行った。

管理運営については平成26年7月1日現在、3保育所で入所児童数106名、保育士数14名との説明を受ける。また、保育士の確保が困難な状況についての説明を受け、人材確保への対策が今後の課題と考える。施設については厚

沢部保育所が築50年、鶴保育所が築41年、館保育所が築44年と各保育所とも非常に老朽化しており、現地調査で修繕状況は確認したが、調理室やトイレ、手洗い場等の拡充が必要と思われる。

今後は「子ども子育て会議」の中で将来的な町内保育所のあり方についての議論がなされていく見通しであり、少子化が進む状況等を勘案した運営体制及び施設整備が必要である。

委員会活動状況

月日	委員会名	出席委員数	活動内容
9	5 議会運営委員会	4名	第3回定例会について
	8 議会改革推進特別委員会	11名	議会改革に関する調査・研究
	8 総務文教常任委員会	5名	所管事務調査について
	8 産業厚生常任委員会	5名	所管事務調査について
10	14 議会改革推進特別委員会	11名	議会改革に関する調査・研究
	14 議会広報編集特別委員会	4名	広報No.81号の編集について
	23 総務文教常任委員会	6名	第2回所管事務調査
	31 議会運営委員会	4名	第4回臨時会について
	31 議会広報編集特別委員会	4名	広報No.81号の編集について
11	10 産業厚生常任委員会	5名	第3回所管事務調査
	18 議会広報編集特別委員会	4名	広報No.81号の編集について
	20 議会改革推進特別委員会	11名	議会改革に関する調査・研究
	25 総務文教常任委員会	6名	第3回所管事務調査
	25 産業厚生常任委員会	5名	第4回所管事務調査

まちの議会を 傍聴してみませんか

町政はあなたのために
次の定例会は12月8日（月）からです。

《一般質問開始予定：8日 午前10時20分頃～》

手続きは、議会事務局備え付けの傍聴者名簿に住所・氏名を記入だけです。

編集後記

今年は大候もよく、農作物も順調に生育し期待できると聞いていました。主要作物の馬鈴薯等は、平年並みで、米の収穫では、アオ米が昨年よりも多く収量も1俵程少ない。また、金額も20000円（60kg当たり）前後安い。

全道の当初統計調査発表指数は108で、最終調査で107に修正されているが、道南地区の指数はそのまま修正されていない。収量も価格も昨年度よりも落ち込むにも関わらず、なぜ作況指数の修正がなかったのか、個人的に疑問に思うところで、作況指数が1変わるだけで市場相場も大きく動き、生産者への負担も大きいのでは。

（し）

議会広報編集特別委員会
委員長 高田 一弥
副委員長 浜塚 久好
委員 松村 松雄
委員 下川部洋伸